

4技能英語資格試験はどのような?

2018年 6月9日 土 2:00pm~5:00pm

※事前申込み不要・参加費無料・高校生も参加OK!

2021年1月から大学入試センター試験に代わって「大学入学共通テスト」が実施され、英語に関して4技能英語資格試験が活用されることになりました。大学で4技能試験がどのように扱われるのか、高校の英語指導はどのような変化を求められるのかについて、最新の動向と今後の展望について専門家の意見を踏まえて提案します。

講演要旨

4技能英語試験の難関大での扱いはどうか? 今大学はどのように考えているか? どう学習させることが適切なのか? 4技能英語資格試験の入試への導入を活用して、いかに高校・大学が協働して学習者中心の英語教育に転換すべきかを提案します。

山下 仁司

大阪大学 高等教育・入試研究開発センター 教授

1983年 大阪大学卒業後、福武書店(現ベネッセコーポレーション)入社。

ニューライフゼミ英語編集長、国際教育事業部長、GTEC開発主査、ベネッセ教育総合研究所首席研究員などを経て2016年より現職

講演要旨

4技能英語資格試験が私学ではどのように取り扱われるのかを解説します。たとえば関西のトップクラスの私学ではどうか、そして中堅の私学ではどうかということについて具体的に解説します。

東淳一

神戸学院大学グローバル・コミュニケーション学部長 教授。

兵庫県立長田高等学校他で教鞭をとったあと、流通科学大学商学部、順天堂大学医学部を

経て2015年より神戸学院大学。2016年よりグローバル・コミュニケーション学部長。

オーストラリア、クラーゲンフルト大学院博士課程にて情報科学を学ぶ。主な研究分野は、音声学、外国語教育、メディア・コミュニケーション学。

指定討論者

平野琢也

明治大学、オーストラリア大学卒。

(株)アルクにて、月刊誌・書籍などの英語教材編集、・TSST (Telephone Standard Speaking Test) などスピーキング能力テストの開発・運用、英語学習アドバイザー資格認定制度 (ESAC) の立ち上げ・運用などに関わり、現在はアルク教育総合研究所にて英語教育関連の調査・研究に携わる。



会場

神戸学院大学 ポートアイランドキャンパスD号館102教室

〒650-8586 神戸市中央区港島1-1-3

<http://gc-kobegakuin.jp/>

